



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



平成26年度学校法人昭和大学学祖祭 が開催されました 歯学部長 宮崎 隆

平成26年度学校法人昭和大学学祖祭が、6月1日(日)午後1時から、上條講堂で本学関係者、職員、学生約500名の出席のもと盛大に開催されました。



学祖祭は本学の学祖である上條秀介先生のご遺徳を称え偲ぶとともに、本学関係者が一同に会して親睦の絆をより深めるために平成23年度から開催され、今年度で4回目になります。

当日は、学祖祭に先立ち、法人役員と上條家関係者が都立多摩霊園の上條家墓をお参りし、小口理事長が学校法人の平成25年度の事業報告ならびに26年度の事業計画を学祖に墓前報告しました。

学祖祭は本学管弦楽団の前奏に引き続き、久光総務担当理事の司会で始まり、小出学長が、昭和3年3月の昭和医学専門学校設置認可および5月の附属医院開院における学祖 上條秀介先生のご活躍を紹介し、今後益々の発展を期したいと挨拶されました。引き続き、小出学長から平成26年度の上條奨学賞の授与が行われました。歯学部からは、口腔生化学講座の須澤徹夫講師(研究業績)と口腔生化学講座の上條竜太郎教授(教育功績)が表彰されました。

小口理事長がプロジェクターを使って、平成25年度の事業報告と平成26年度事業計画の概要を説明し、全職員が情報を共有し同じ方向で大学が発展できるようにしたいと挨拶されました。細山田明義名誉学長が、昨年までに話された上條秀介先生の生い立ちから専門学校創設までの歴史に引き続き、「昭和医専から昭和医科大学への移行」というタイトルで、戦中、戦後の学制の改変を含めて先人のご努力について



熱のこもった記念講演をされました。昭和大学宣言の唱和と校歌を斉唱して午後3時半に閉会しました。引き続き50年記念館で懇親会が開催され、MASや応援指導部のパフォーマンスがあり、和やかな雰囲気のなか、参加者は思い出話に話を弾ませました。

平成26年度父兄会総会が開催されました 教育委員長 井上美津子

平成26年度の父兄会総会が、去る6月14日(土)午後1時から本学上條講堂にて開催されました。大学側から平成25年度の学校法人昭和大学の事業報告と平成26年度の事業計画の概要が紹介され、決算、予算の承認等が行われました。父兄会からは毎年、学生会の活動補助、指導担任・D6チューター制度の補助、学生の教材の印刷補助等、大学の運営に多大なご支援をいただき感謝しております。

また、同日の総会に先立ち、午前11時30分よりD6父母説明会が、午後12時45分からはD6学生・既卒者説明会が開催され、宮崎学部長、上條学生部長の挨拶のあと、卒業試験・卒業判定、歯科医師国家試験、卒業研修制度、歯科病院の研修プログラムなどについての説明が、井上教育委員長、美島D6チューター委員長、佐藤臨床研修医マッチング支援委員長、長谷川臨床研修プログラム責任者からありました。

総会終了後は各学部に分かれ、歯学部部会は4号館5階の500号教室で多数のご父兄のご出席のもとで開催されました。宮崎学部長から最近の歯学部の施設や教育の現状についての説明があり、井上教育委員長からは各学年における今年度のカリキュラムの特徴、上條学生部長からは学生生活についての諸注意等の話がありました。

その後、50年記念館に会場を移して4学部合同の懇親会が開催され、こちらにも多数のご父兄のご参加があり、楽しく和やかな歓談が行われた後、午後4時半過ぎにお開きになりました。



上條奨学賞(研究業績)を受賞して

口腔生化学講座 須澤徹夫

この度、課題名「硬組織形成細胞の分化制御機構の解明」により、平成26年度上條奨学賞(研究業績)を受賞いたしました。本学創設者の上條秀介先生ゆかりの荣誉ある賞をいただき大変光栄に存じます。私が上條奨学賞という荣誉ある賞を受賞することができましたのも、口腔生化学講座 上條竜太郎教授のご指導をはじめ、同僚や学内外の共同研究者のご支援、日々研究を共にした優秀な大学院生の力によるものでございます。この場をお借りして深く感謝申し上げます。そして歯科矯正学教室を退職後、口腔生化学教室で基礎研究の世界を知る機会をくださいました歯科矯正学講座 榎宏太郎教授、当時の須田立雄名誉教授に心より御礼申し上げます。

口腔生化の研究生時代からこれまでにプロスタグランジンE₂による炎症性骨吸収、エナメル芽細胞の初代培養系確立と分化制御因子の解明、オクタリン酸カルシウムによる修復象牙質誘導、神経堤由来細胞を用いた象牙芽細胞・骨芽細胞分化誘導など一貫して硬組織をつくる細胞に関する研究に取り組んでまいりました。今回の受賞をこれからの励みとして、鋭意専心していきたくと存じます。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



上條奨学賞(教育功績)を受賞して

口腔生化学講座 上條竜太郎

この度、「歯学部・大学院を通じた基礎歯学教育の推進」の課題名で平成25年度上條奨学賞(教育功績)の授与を受け、大変光栄に存じます。私は本学大学院歯学研究科を修了後、第二口腔外科学教室において教育、診療、研究に従事した後、口腔生化学教室に赴任致しました。以来口腔生化学を中心に基礎歯学の教育・

研究に携わっております。生化学赴任当時のカリキュラムは、いわゆる旧カリキュラムでしたが、歯学部は平成15年に新カリキュラムへと移行、



「社会と歯科医療コース」、「オーラルフィジシャンコース」の設定や問題解決型学習の導入に引き続き、iOSCA、学部連携病棟実習の実施など、他大学に無い独自のカリキュラムを築き上げました。一方で、3年時の「研究入門」、6年時の「選択実習」など、学部学生に最先端の研究に触れる機会を提供しております。このような大改革の中で、基礎歯学教育が果たすべき役割もまた、時代に合わせてさらなる変革を遂げるべき時にあります。今後も引き続き、基礎と臨床の両方の教育に携わった経験を活かし、高い臨床能力とリサーチマインドを有する歯科医師の育成に努力する所存でございます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

昭和大学白菊の集いが開催されました

口腔解剖学講座 中島 功

平成26年6月7日(土)午後12時30分より、昭和大学50年記念館にて平成26年度昭和大学白菊の集いが開催されました。当日は雨天にもかかわらず、会員さんと同伴者合わせて歯学部78名、医学部127名の計205名が参加者いたしました。この「集い」は医学部と歯学部が交互に担当をしており、今年は医学部の担当で医学部の学生が会員さんの駅から会場までの道案内や会場内での案内に活躍をいたしました。「集い」は、医学部の森山准教授の司会で行われ、医学部解剖学講座肉眼解剖学部門の大塚成人教授の開会の辞に続いて物故会員への黙禱が行われました。さらに小出良平学長、久光 正医学部長、宮崎 隆歯学部長の挨拶が行われた後、医学部内科学講座神経内科学部門の河村 満教授による「認知症診断の現在地を知る」というテーマで、講演が行われました。高齢者の多い会員の皆様にとって身近な話題であったことから、皆様は熱心に耳を傾けていらっしゃいました。講演は午後2時に終了し、歯学部口腔解剖学講座の中村雅典教授の閉会の辞を持って終了いたしました。



第52回日本小児歯科学会が開催されました

小児成育歯科学講座 井上美津子

第52回日本小児歯科学会大会が、平成26年5月16日(金)、17日(土)に品川区立総合区民会館「きゅりあん」にて、昭和大学小児成育歯科学講座の担当で開催されました。

大会テーマは「子ども達の未来のために ～親子の絆を育む小児歯科医療～」で、このテーマに基づいた講演やシンポジウムが企画され、天候にも恵まれ1,600名を超える参加者にお集まりいただきました。特別講演は2題で、板橋家頭夫・本学医学部小児科教授から「わが国の低出生体重児の現状」、吉村泰典・慶應義塾大学医学部産婦人科教授から「わが国の少子化を考える」と題してお話をいただきました。シンポジウムⅠの「呼吸を考える」では、本学歯学部の中宏太郎・歯科矯正学教授をはじめとした3名の先生方にご講義をいただき、ディスカッションを行いました。またシンポジウムⅡの「う蝕・酸蝕症と歯みがき」では「食後30分間、歯みがきを避けるべき」という見解を巡って議論が行われました。

一般演題は約200題、また17日には辻井いつ子さん(ピアニスト辻井伸行氏の母)による区民公開講座「子どもの才能の見つけ方、伸ばし方」も開催され、多くの区民のご参加もいただき、感動的なお話に大きな拍手があがりました。品川プリンスホテルで行われた懇親会には、住友雅人・日本歯科医学会会長や宮崎隆・昭和大学歯学部長にご臨席いただき、ご挨拶をいただきました。懇親会では昭和大学のアカペラ部による歌の披露もあり、会を盛り上げてくれました。

大会の開催、運営にご協力いただいた皆様方から心より感謝申し上げます。

D2防災訓練が行われました

防災管理委員会 美島健二

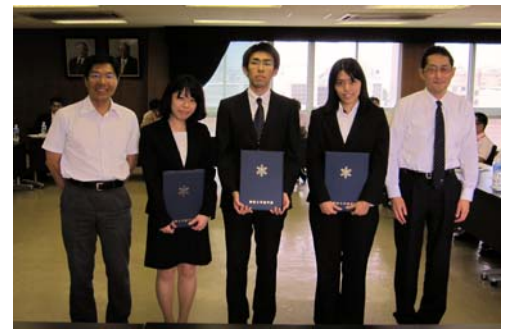
6月5日(木)に医歯薬3学部2年生を対象に防災訓練が行われました。初めに、荏原消防署の木村敬一係長より「震災・帰宅困難者対策について」と題してお話があり、その後、荏原消防署のご協力のもと5班に分かれて①避難訓練、②通報訓練、③消火訓練、④屋内消火栓操作法、⑤煙体験実習が行われました。あいにくの雨空のため当初予定されていた起震車体験実習は中止となったことが残念ですが、おおむね順調に訓練が進められました。東日本大震災から3年が経過し、学生には少し緊張感を欠く部分が見受けられましたが、ここ首都圏においても大型の地震

を想定して日頃より準備を進めておく必要があると感じました。この防災訓練を通して、緊急の災害時において自己の安全のみならず医療人として、患者さんをはじめとした周囲の人々の安全にも気を配ることが出来るような意識を身につけてもらいたいと思います。

D3研究入門の優秀者が表彰されました

教育委員長 井上美津子

歯学部3年生の2月から3月にかけて、選択実習の「研究入門」が行われます。この実習では、歯科医学(とくに基礎歯学)の専門性の高い研究に学生のうちから直接触れることにより、歯科医学のEBMを理解し、研究マインドが育つことが期待されています。平成25年度の研究入門では、12名の学生が口腔生化学、口腔微生物学、口腔衛生学などで2週間の研究を行いました。その成果としての研究報告書などで評価が行われ、6月の教授会で成績優秀者3名(谷口咲香さん、三橋涉君、高坂光さん)が表彰されました。今後のご活躍を期待しております。



学内 e-ラーニング「アルク英語教材」を活用しましょう

口腔微生物学講座 桑田啓貴

ALC NetAcademyとは、英語力向上のためのe-learningツールです。海外からの突然の来客にも困らないよう、日々英語力を鍛えましょう。昭和大学学内専用ホームページ内にアルク社の英語e-learning教材(ALC NetAcademy 2)がありますので、活用することをお勧めします。(学習者ログインページ: <https://engl.showa-u.ac.jp/>)

スーパースタンドコース、スタンダードコース、医学英語<基礎>の3コースが利用でき、またTOEIC準拠のミニテストもありますので、12月に行われる予定のTOEIC試験の準備にも活用できるでしょう。(例年10月に団体受験の募集が行われます。個人受験で5,565円の受験料が団体受験のため2,000円程度で済みます。教員・学生・大学院生の全員が受験することを推奨されています。)医学英語コースでは、医師との会話のリスニング、医学記事リーディング、医学関連の基礎的語彙などが学べます。利用にはインターネット環境さえあれば、だれでも利用できます。ID・パスワードはShowa-IDをご使用ください。

科学研究費補助金が内定しました

研究活動委員長 上條竜太郎

去る4月1日、文部科学省と日本学術振興会は、平成26年度科学研究費補助金の交付内定を公表しました。昭和大学全体では採択件数207件、採択金額は2億8930万円でした。歯学部の交付内定状況は下表の通りで、交付内定件数、交付内定金額は、昨年度と比較してそれぞれ13%、12%の減少となりました。なお、歯学部の交付内定金額は、昭和大学全体の交付内定金額の42.0(昨年度は44.5)%にあたります。ご不明な点は、歯学部研究活動委員会、財務部研究助成課にお問い合わせ下さい。

科学研究費補助金内定状況

	平成25年度			平成26年度		
	採択件数		内定金額	採択件数		内定金額
	新規	継続		新規	継続	
基盤研究A	0	0	0	0	0	
基盤研究B	0	4	10,800	3	1	18,700
基盤研究C	17	30	61,000	9	28	43,000
若手研究B	14	25	50,300	11	20	36,600
研究活動スタート支援	5	8	8,600	申請中	7	7,100
挑戦的萌芽研究	3	4	7,400	2	5	8,300
合計	34	71	138,100	25	61	113,700

(内定金額は新規・継続の合計で単位は千円)

(採択金額は直接経費のみ)

平成26年度昭和大学学術研究奨励制度助成対象者が決定しました

研究活動委員長 上條竜太郎

本学では、学術研究の将来を担う活力ある若手研究者を育成し、以て本学の発展に寄与することを目的とし、「昭和大学学術研究奨励制度」を設けて(1)学術研究諸活動に関する助成(2)海外留学及び海外研修諸活動に関する補助を行っております。

この度、本年度の助成対象者(学術研究諸活動:4名・海外留学及び海外研修諸活動:7名)が決定致しました。歯学部の助成対象者は下表の通りです。

	区分	所属	職名	氏名	給付予定額
1	学術研究諸活動	高齢者歯科学	助教(員外)	青柳佳奈	500,000円
2		歯内治療学	助教	八幡祥生	1,000,000円
3	海外留学諸活動	歯科補綴学	助教(員外)	葭澤秀一郎	1,500,000円
4		インプラント歯科学	助教(員外)	山口菊江	1,500,000円

昇任・採用

広報委員長 中村雅典

谷 千尋:美容歯科学部門, 客員教授

秋月文子:顎顔面口腔外科学部門, 助教

鈴木匡介:インプラント歯科学講座, 助教(員外)

ソーシャルメディアガイドラインの制定

教育委員長 井上美津子

富士吉田教育部で、ソーシャルメディアガイドラインが制定されました。

ソーシャルメディアとは、twitter や Facebook、ブログ、掲示板なども含むインターネット上で利用者が情報を発信し、情報交換を行うようなサービスを総称します。ソーシャルメディアは、その利便性から急速に発展しましたが、取り扱いを誤ると思いがけず大きなトラブルに巻き込まれ、その被害が友人や大学、実習施設にまで及ぶ可能性があります。このガイドラインは、大学生になり新しい交流が増えたことを契機にソーシャルメディアへの参加を求められる機会が増えやすい教育部で制定されましたが、昭和大学全体でも制定が検討されています。

内容としては、まず法令遵守(日本国の法令やソーシャルメディアのルール)、インターネットの特性の理解(インターネット上にプライベートな場はない)、他人のプライバシーへの配慮、正確な情報の発信(情報源の確認の必要)、敬意をもったコミュニケーション、大学の一員であることを自覚した投稿(公序良俗に反する行為を避ける)などが挙げられています。

ソーシャルメディアの利用によって社会的な問題を引き起こした場合や、大学の名誉を傷つけた場合には、社会的な制裁や学則による懲戒処分が科せられることもあるということにも触れています。便利なものであるだけに、慎重な利用が望まれます。

行事予定

広報委員長 中村雅典

7月11日(金):夏季スポーツ大会壮行会

7月12日(土):第17回 昭和大学公開講座

「暮らしと健康」-お口の健康-(歯科病院)

7月23日(水):4学部合同入試説明会

7月26日(土):歯学部オープンキャンパス

7月29日~31日(火~木):昭和大学教育者のためのワークショップ(ビギナーズコース)

7月30日~8月12日(水~火):第46回歯学体

8月 1日・2日(金・土):昭和大学教育者のためのワークショップ(アドバンスコース)

8月16日(土):歯学部オープンキャンパス

編集後記

歯科理工学部門 堀田康弘

今年は梅雨のこの時期に、突然雹(ヒョウ)が降り積もるなど、異常気象もやりたい放題ですね。そんな中、ブラジルで開催中のサッカーワールドカップも日本の1次リーグ敗退で、眠い目をこする日々から解放された方も沢山いるのではないのでしょうか。

さて、末筆になりますが、いつもお忙しい中、原稿を執筆して頂いた皆様には心より感謝申し上げます。